

京都フィロムジカ管弦楽団

第38回定期演奏会



BRAHMS

Sinfonie Nr.4

リスト (ミュラー=ベルクハウス編曲) / ハンガリー狂詩曲第2番
ウォルトン (バッハ原曲) / バレエ組曲『賢い乙女たち』
(ヴァイオリン独奏 馬淵 清香)

ブラームス / 交響曲第4番 ホ短調



指揮 木下 麻由加

2015年12月27日(日)

午後1時開場 2時開演

1時15分よりロビーコンサートを開催いたします



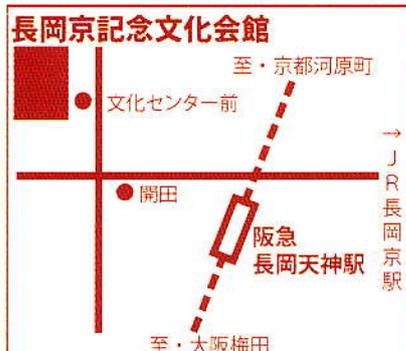
京都芸術センター制作支援事業

後援:長岡京市、長岡教市教育委員会

楽譜協力:トヨタミュージックライブラリー

京都府長岡京記念文化会館

阪急・長岡天神駅下車 徒歩8分。
JR・長岡京駅よりバス7分、「開田」
または「文化センター前」下車すぐ。



前売券:800円 (当日券:900円) 全自由席

【チケット取り扱い】

京都府長岡京記念文化会館、JEUGIA (三条本店3F、APEX弦楽器)
京都芸術センター (窓口販売のみ10:00-20:00)

※ホームページでの予約も可能です。http://www.kyotophilos.com/

【お問い合わせ】 070-6506-4032

ticket@kyotophilos.com

- ・お車でのご来場はご遠慮ください。
- ・乳幼児等就学前のお子様のご同伴、ご入場は固くお断りいたします。
- ・係員の指示に従っていただけない場合はご退場いただくことがあります。

京都フィロムジカ管弦楽団 第38回定期演奏会

京都フィロムジカ管弦楽団定期演奏会、今回は、誰もが聴いたことがある音楽でありながら、しかしそんな音楽が全く新しく聞こえてくる、そのような不思議な体験ができるに違いありません。

最初に演奏されるのはリスト作曲の『ハンガリー狂詩曲第2番』。リストの故郷・ハンガリーの舞曲を素材にした、荒々しく激しい作品です。この情熱的な旋律は誰もがきっと耳にしたことがあるものですが、全曲を通して聴く機会は意外と少ないのではないのでしょうか。今回は、この変化に富んだ密度の高い音楽をじっくりと聞く貴重な機会となります。原曲はピアノ曲で、これをミュラー＝ベルクハウスが編曲したオーケストラ版で演奏します。

2曲目はウォルトン作曲のバレエ組曲『賢い乙女たち』。この曲に用いられている旋律はすべて「音楽の父」バッハが作曲したものです。バッハの有名な旋律をウォルトンが選んで再構成し、オーケストレーションを施して組曲にしました。近代イギリスの鬼才・ウォルトンは、独創的な交響曲などで熱狂的な愛好者を獲得している作曲家で、扇情的な旋律ときらびやかな響きが魅力です。しかしこの『賢い乙女たち』は、端正なバッハの旋律を使っているだけに真摯で静謐な音楽となっており、ウォルトンの攻撃的なイメージとはまた異なる魅力を持っています。それでも効果的なオーケストレーションはやはりウォルトンの天才的な筆が冴えわたっています。慣れ親しんだバッハの音楽を、目の覚めるような輝かしい響きで聴くことができる、類のない傑作です。また、魅力あふれるヴァイオリニスト・馬淵清香氏が演奏する長大なソロも楽しみです。

最後に演奏されるのは名曲中の名曲、ブラームスの交響曲第4番。後期ロマン派を代表する大作曲家・ブラームスですが、彼の交響曲は古典に範をとった厳格な作風が魅力です。とりわけ、彼の最後の交響曲である第4番は、終楽章に古めかしい音楽の形式を使うなど、彼の古典への造詣の深さが存分に発揮された作品です。古典の中の古典・バッハの音楽を聴いた後で聴くブラームス4番は、ロマン派的な情熱と同時に古典的厳格さも感じさせる、新鮮な感興が得られるに違いありません。

指揮は若手指揮者・木下麻由加氏。フィロムジカ初登場ですが、知られざる作品に果敢に取り組み姿勢はフィロムジカと同じで、息の合った演奏が期待されます。慣れ親しんだ旋律から全く新しい感動を得る、稀有な演奏会になるに違いありません。

指揮 木下 麻由加 (きのした まゆか)

2010年神戸大学発達科学部人間表現学科卒業。スカンジナビア・ニッポン・ササカワ財団より助成を受け、渡丁。2014年デンマーク王立音楽アカデミー指揮科修了。指揮を斉田好男、高谷光信、J・フッパグ、N・スーカッチ(チェルニーゴフフィル音楽監督)、P・ラーセン、ピアノを木下千代、伴奏法をN・ゲーゼ、音楽理論をG・ラーセン、作曲法をA・プロスゴード各氏に師事。また、斉田好男、牧村邦彦、井村誠貴各氏の下でオペラの研修を積む。神戸大学在学中よりオペラ団体『オペラ夢神戸』を立ち上げ、オペラ《ハンゼルとグレーテル》、《魔笛》を上演。

2012年・2013年ウクライナ国際指揮マスタークラス修了。修了演奏会にてチェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団を指揮し、ロシア音楽奨励賞を受賞。現在、オペラ団体『オペラ夢神戸』指揮者、よろづ管弦楽団指揮者、その他複数のオーケストラ及びオペラ団体にて指揮及びトレーナー、アシスタントを務める。

管弦楽 京都フィロムジカ管弦楽団

1996年創立。知名度の低い傑作に光を当てる斬新な選曲を身上としており、日本初演・関西初演も多く手がける。遠く北海道や九州からも聴衆が駆けつけるなど、その姿勢は全国的に注目されている。また、若々しい熱気を前面に出した激しい演奏に定評がある。年2回の定期演奏会のほか、依頼を受けての演奏会も精力的にこなす。特定の母体を持たない珍しいアマチュアオーケストラで、団員の本業や出身地は様々であり、関東や東海など遠方在住の参加者もいる。学生オーケストラの経験のない人や大人になってから楽器を始めた人など楽器歴も様々に異なる奏者たちが集って音楽を作り上げている。団名の「フィロムジカ」は、「音楽を愛する」という意味の造語である。

新入団員大募集中！

～私たちと一緒に演奏しませんか？ まずはお気軽に見学にお越しください。団員一同、お待ちしております。～
私たち京都フィロムジカ管弦楽団は、第40回定期演奏会(2016年度冬)で、ブラームスが作曲しシェーンベルクが編曲した大作『ピアノ四重奏曲第1番・管弦楽編曲版』の演奏を予定しています。一緒に演奏したいという皆さんのご参加をお待ちしています。

●募集パート ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ(弦楽器急募！！)

オーボエ・クラリネット・トランペット・トロンボーン/打楽器 (諸条件については要相談)

〔参加資格〕 練習に出席できること。年齢制限はありません。学生の参加も歓迎します。

〔練習日時〕 毎週日曜日(午後1時～午後5時) 春と秋に練習合宿(大津市内)

〔練習場所〕 京都芸術センター、河原町丸太町・荒神口周辺など京都市内各所のほか、大津市など。

〔諸費用〕 活動費：3,000円/月 合宿費：10,000円程度 演奏会参加費：20,000～30,000円(学生は半額)

入団・見学に関するお問い合わせ先 E-mail: recruit@kyotophilob.com

Webサイト (<http://www.kyotophilob.com/>) では、過去の演奏曲も紹介しております。是非一度ご覧ください。

<お知らせ> 京都フィロムジカ管弦楽団 第39回定期演奏会：2016年6月26日(日) / 会場：八幡市文化センター